



発行責任者

隠岐広域連合立

隠岐病院長

隠岐の島町城北町

島根県

メデイカルラリー大会で

準優勝！しました。



左から、重西、竹本、西井、田

10月25日、松江消防学校で開催された第5回 島根県メデイカルラリー大会に参戦してきました。

メデイカルラリーは、医師、看護師、救命士、救急隊の4人でチームを組み、あらゆる症例の模擬傷病者の救助や診察を行って状況把握の早さや処置の適切さ、チームワークなどを競うものです。

産科救急・新生児蘇生、小児救急、内因性疾患蘇生、交通外傷、災害多数傷病者対応の5症例に、丸1日かけてチームでチャレンジしてきました。

隠岐チームには、当院からは酒井医師、看護師は佃が、隠岐消防からは竹本救命士、重西救急隊員が参加しました。

どんな内容の症例を提示されるかわからない不安感や隠岐の名を背負っているプレッシャーで私は明け方まで緊張のあまり記憶が……笑

どの症例も雰囲気にもまれそうで、動揺する気持ちを落ち着かせ、冷静な観察と判断、処置に集中するために想像以上にエネルギーを使いました。勉強不足と経験不足を痛感するばかりです。全てを終了した時は何とも言えない解放感と安堵感でした。

そして全ての項目が終わりいよいよ結果発表です。島根県全域から参加した全10チームで表彰式。

第3位：江津チーム！

ああ……ダメだったね……思わず呟く……

第2位：隠岐チーム……！

えー！？やった！ やったあー！！

飛び上がった喜びでしたね（笑）みんなで勝ち取った結果でした。本当に心底嬉しかったです。胸も熱く、目も熱い……

日頃からお世話になっている隠岐消防の皆さん、隠岐チームは皆さんの力に支えられ今回の大会にチャレンジする事ができました。心からありがとうございます。

離島という厳しい医療環境の中、条件によって限られる場合もありますが、隠岐だからできない……ではなく、「隠岐だからこそできる連携」として、消防署との密な連携、ドクターヘリとの連携や他の病院との連携がとても重要であり、大切な一つだと思いました。

これからも病院だけでなく、『隠岐の島の医療』という広い視点で日々の現場に活かしていきたいと思っています。わたしたち医療従事者が一つ一つの事に真剣に取り組む、良い連携を取って行くことが島の住民の方々の信頼に繋がるのではないかと思います。そして病院での日々の患者様との関わりを大切にしたいと改めて思いました。メデイカルラリーに参加させていただけた事に心から感謝いたします。医療人として大きな宝になります。ありがとうございます。

外来 佃 志穂

第3回まめなかのまつり —スナップ集—



▲「しまねっこ」と一緒にオープニングのあいさつをする小出院長。このあと双葉保育園児による勇壮な「ふたば太鼓」で雨をも、ふっとばしてくれます。

去る11月8日、3回目の病院祭“まめなかのまつり”が開催されました。当日は雨もようでしたが、約700人の方に来ていただきました。



▲小児科 堀先生の「鉄道模型」今回は、リニアモーターも走らせました。



▲▶ステージコーナーでは当院職員による、「相撲踊り」を披露しました。Dr レンジャー ピンクも満面の笑顔で参加です。



▲ミニ健診コーナー。血糖、ヘモグロビンA1cを無料測定しました。





▲▼Dr レンジャー大活躍！5人から9人になってますますパワーアップだ。



▲半日院長は、西郷小学校5年生の華子さんと凜子さん。



消防署の協力で、救急車への乗車や、隊員服に着替えて写真撮影ができました。▼

健康標語 各賞発表！

今回のまめなかのまつりを開催するにあたって、隠岐の島町の小学生のみなさんに健康標語を募集したところ、200余通もの応募がありました。たくさんのお応募をありがとうございました。

最優秀賞 低学年の部

◎きょうもいっしょに

あさごはん みんなげんき

都万小1年 さわみちる

最優秀賞 高学年の部

◎早期発見

あなたの命を左右する

西郷小6年 日野みずす

院長賞 低学年の部

◎そこからかえったら

うがい てあらいをしよう

五箇小1年 ながみここな

院長賞 高学年の部

◎ガンけんしん

とっても大事なけんさだよ

有木小4年 西藤心和

看護部長賞 低学年の部

◎おとうさんがタバコをやめる

なら ゲームをやめるよ

西郷小1年 つつみまこと

看護部長賞 高学年の部

◎大人の歯

一生使う 大事な歯

都万小4年 齋藤竜成

お父さん賞

◎おとうさん

たばこすわずに あそぼうね

有木小2年 さいとうこいろ

お母さん賞

◎お母さん

たまには ゆっくり休んでね

有木小4年 松本琉楓

「医々とも座談会」 今年も巡回中



この座談会は、病院の現状や医療・保健に関しての発表や意見交換を行い、地域の皆さまに隠岐病院というものを理解していただくとともに、地域の皆さまとふれあい、病院を身近に感じていただけるよう8年前から開催しています。

10月21日、今年3回目の座談会を月無地区で開催しました。



産婦人科の佐藤絵美です。
10月から12月まで3カ月の短い期間ですが、よろしくお願いします。



この時は、赴任して間もない産婦人科の佐藤絵美医師に「産婦人科医の役割とは？」と題して発表してもらいました。妊娠・分娩、不妊治療、悪性腫瘍、更年期などわかりやすく説明していただきました。「産婦人科医は、女性の一生と関わります。気軽に産婦人科の扉をたたいてください」としめくられました。

院内トリアージの実施について

当院は時間外、休日又は深夜において、救急外来を受診される患者さまに対して、看護師等が患者さまの症状により緊急度・重症度を判断し、それに応じて診療の優先順位を決めさせていただいてます。それにより診療の順番が前後する場合がございますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

院内トリアージとは…

救急来院した時点で患者さまの状態を評価し、緊急度・重症度に応じて診療の優先順位を決定することです。



インフルエンザ様症状で 受診される患者さまへ

発熱・風邪症状・関節痛などのインフルエンザ様症状で、隠岐病院を受診される時は、**必ず事前に電話連絡**をお願いします。

インフルエンザが疑われる患者さまには、緊急を要する状態ではない限り、診察時間と診察場所の指定をさせていただきますのでご承知おきください。



病院内では、
咳の出る方は
マスクの着用をお願いします。